

(3) 広報わっさむ 平成25年2月号

札幌三角山放送局「月刊わっさむ」

vol 8



札幌にまちの元気情報を発信

和寒町の情報を札幌市民に向け発信し、交流人口の拡大と将来の移住・定住人口の拡大を目的に札幌三角山放送局で「月刊わっさむ」の放送を行っています。放送日は毎月第4火曜日午後2時～2時30分(30分間)です。また、過去の放送内容は、図書館で聴くことができます。

■「月刊わっさむ」第19回放送 わっさむ担い隊がゲスト出演

10月24日の放送では、担い隊の桐生一樹さん、中野利樹さんにゲスト出演していただきました。

中野さんは「和寒町のポータルサイトを作り、和寒の情報を発信したり、ウェブサイトを作成する仕事で起業をしていきたい」

桐生さんは、「自然が好きで、町内で撮影した野鳥ガイドブックを図書館に置いてもらいたい。林業関係の仕事をしたいので日々、勉強をしています」と現在の活動内容と今後の和寒定住に向けた抱負を語ってくださいました。

また、「和寒はおいしい野菜があり、楽しいイベントがたくさんあるのでぜひ一度来てください！」と来町を呼びかけました。



■「月刊わっさむ」第20回放送 堂前信一さんがゲスト出演



11月29日の放送では、和寒町老人クラブ連合会会長の堂前信一さんにゲスト出演していただきました。

「和寒には全部で12の老人クラブがあり、各クラブが月に2回程度、講演会や研修、パークゴルフ大会、ゴミ拾いなど充実した活動を行っています」と紹介されました。

「和寒町は、特別養護老人ホームの入所定員数や公営住宅の数が近隣町村より多く、年をとっても住みやすい町です」「自然に囲まれ、キャンプに最適な南丘森林公園があり、家族・友人と来て、和寒の自然を堪能してください」と自然が豊で高齢者にも暮らしやすい和寒町の魅力をPRしていただきました。

■「月刊わっさむ」第21回放送 塩狩太鼓保存会がゲスト出演

12月25日の放送では、塩狩太鼓保存会から林博明さん、林美紀さんにゲスト出演していただきました。

「塩狩太鼓の発足は、青年団の祭りの出し物として、石川県で叩いていた太鼓を録音し、発表したのが始まりです。最初はまったくの素人でした。そこから有志がつどい保存会を発足しました」と塩狩太鼓の誕生話を披露。

塩狩太鼓少年団の指導については、「子どもたちは大人より曲を覚えるのが早くて感心します」「塩狩太鼓は和寒の郷土芸能として子どもたちが受け継ぎ、数名でもいいから和寒に残って活動してほしい」と期待を語られました。また、番組では録音した塩狩太鼓少年団の息のあった太鼓演奏も放送しました。



■番組のお問い合わせは役場総務課まちづくり推進係(TEL32-2421)まで

カラスの生息地情報を教えてください

カラスがゴミステーションを散らかすことや糞公害など、カラスにお困りのかたから、これまで多くの声が寄せられています。

つきましては、カラスの生息地に関する情報を住民課環境衛生係までお寄せください。寄せられた生息地の情報をもとに駆除などの対策を検討してまいりますので、ご協力をお願いいたします。



■詳しくは住民課環境衛生係まで (TEL32-2422)